No.70
2018
11／1

はちおうじ FAXニュース

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索

八地申第5号

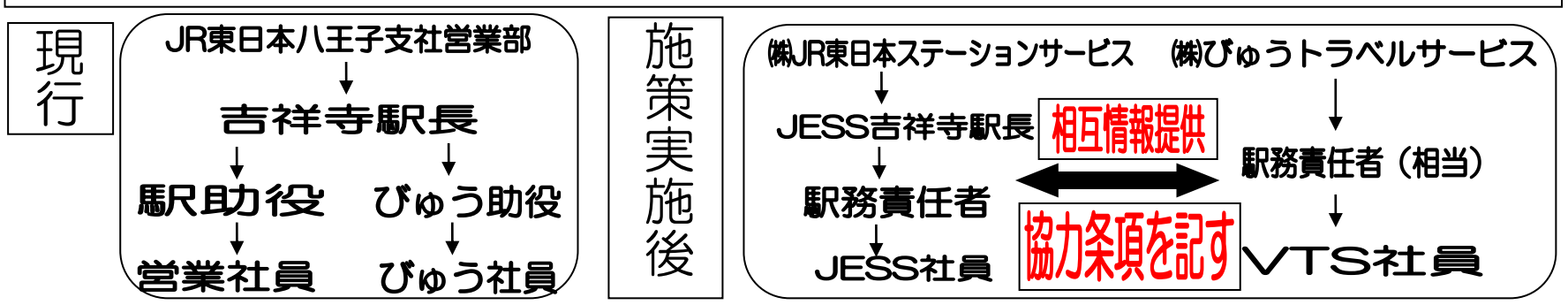
「吉祥寺駅の駅業務委託及び旅行業移管に関する解明申し入れ」全項目終了

安全・サービスレベルを低下させてはならない！

１０月３１日、第２回交渉を行い、全項目を終了しました。

第６項　JR本体との指揮命令系統を明らかにすること。

- 現行ＪＥＳＳでの取扱い通り。管理駅長から駅務責任者へ指示を行う。
- ＶＴＳには、駅務責任者相当の役職を配置する。（びゅう所長のような役職）
- 「協力条項」のようなものを作成し、ＪＥＳＳとＶＴＳで協力していく。
- 「協力条項」の中身は細かく出来ないが、駅を正常に運営するためのものである。
- 異常時は、輸送障害規模によるがＪＥＳＳとＶＴＳの管理者同士が相談して対応するものを判断していく。
- 現場には、日時は決まっていないが、社員への説明はしかるべきタイミングで伝える。
- イベントについては、企画立案したところが責任を持って行う。地域からの要請については、検討する可能性はある。
- 安全上の教育体制はＪＥＳＳの中で教育出来る体制を依頼していく。



第7項　駅業務委託にあたり、管理駅及び被管理駅との連携について明らかにすること。

- 管理駅は、三鷹駅。吉祥寺駅の被管理駅はない。
- 三鷹の現在の標準数は、４４名【１０徹、３日勤、５日勤（不定期）】
  内訳は、駅長１日勤、副駅長１日勤。助役１徹、営業助役１日勤、企画・内勤１日勤、サービスマネージャー２日勤、
  出札２徹、２日勤、改札２徹、乗客１徹、輸送（信号含め）３徹１日勤。
- 吉祥寺を新たな管理駅とするが、三鷹駅の体制は現行数のままで対応可能である。中央ラインモールと比較しても現体制で大丈夫である。
- 人身事故など、吉祥寺駅で発生した異常時には、三鷹駅から応援体制をつくっていく考えである。（吉祥寺駅の向かう手段は、タクシーで急行する）
- 回答にはないが、安全を確保する考えはある。

第８項　施策実施後の分任業務の考え方について明らかにすること。

- 入出金機は、ＪＥＳＳとＶＴＳで分けて１機ずつ設置することになる。
- 機器は、グローリー製の小型入出金機（東小金井へ導入しているもの同様）
- 締め切り作業については、ＪＥＳＳとＶＴＳがそれぞれで駅締めまで行うことになる。

第9項　旅行業を㈱びゅうトラベルサービスへ移管するにあたっての、変更点を明らかにすること。

- 就業規則については、ＶＴＳでの規則になるが、一定程度今の労働条件を保った規則である。
- 産休、育休、介護休、短日数などの休職等制度も目的を則り行っていく。要員等は、他企業が決めることであり、明確には言えない。
- ＶＴＳへの移管により、スカイマークの商品を使う事が出来なくなる。移管や商品については、お客さまへ告知を行ていく。

偽装請負など法律違反をおこしてはならない！
安全とサービスレベルを維持向上させる施策を創り出そう！